

地域密着型金融推進計画の進捗状況

〔平成 17 年 4 月～平成 18 年 3 月〕

〔熊谷商工信用組合は、平成 17 年 3 月 29 日に金融庁より公表された「地域密着型金融の機能強化に関するアクションプログラム」に基づき、「地域密着型金融推進計画」を策定いたしました。〕

今般、平成 17 年 4 月～平成 18 年 3 月までの期間に関する「地域密着型金融推進計画」の進捗状況を下記のとおり取り纏めましたので、お知らせいたします。〕

1. 事業再生・中小企業金融の円滑化取組み方針について

理事長を委員長、専務理事を副委員長、委員に融資部長及び各営業店の部店長とした「経営支援委員会」を発足いたしました。全店で 24 先の企業を抽出し、公認会計士の指導のもと経営改善の支援に取り組んでおり、現在、4 先のランクアップとなりました。

埼玉県信用保証協会の協力により、同協会職員を講師に招聘し信用保証業務知識の習得を目的とした勉強会を平成 17 年 7 月 15 日に実施いたしました。

また、保証業務知識の習得を通じ、保証協会付融資推進による中小企業金融の円滑化の向上に努めました。

「産業クラスターネットワーク・フォーラム」、「ベンチャーマーケット」等へ出席し、新産業分野の創設の現状、地域経済の現状把握、活性化のための知識修得に努めました。

2. 経営力の強化取組み方針について

平成 17 年 7 月 1 日付にてディスクロージャー誌を開示いたしました。今期も写真等の掲載によりお客様に「見易く」「わかり易く」「読み易く」を心掛けました。

当組合の財務内容、商品、サービス、営業方針等を積極的に開示いたしました。

コンプライアンスのある職場風土を醸成するために、営業店担当者による「法令遵守状況のチェック」を平成 17 年 8 月に実施、また、「コンプライアンスに係る自己チェック」を平成 17 年 9 月に実施いたしました。

毎月本部から配布する勉強会資料に基づいた、各営業店毎の勉強会の実施並びに階層別の研修会による知識習得に努めました。

IT の戦略活用として印鑑照合システムの導入を平成 17 年 9 月に移行完了いたしました。平成 17 年 10 月より本格的に稼働させ、印鑑票の照合、安全性の確保、整理、保管等事務処理の効率化を図りました。

3. 地域の利用者の利便性向上取組み方針について

店舗別の「ゴミゼロ運動」への参加、平成 17 年 9 月 12 日実施の「献血運動」、「ロビー展」への協力、「近隣商工会への寄付金贈呈」等地域貢献活動の実施状況及び、「さくら祭り」、「うちわ祭り」等の地元行事、祭事等への積極的参加の実施状況をディスクロージャー誌並びにミニディスクロージャー誌へ掲載しお客様に開示いたしました。

真のお客様ニーズの把握を目的に「お客様アンケート調査」を平成 17 年 11 月に実施いたしました。調査結果を分析し、「利用者満足度向上委員会」を立上げて平成 18 年 3 月より全店統一した、『店周・店内特別美化運動～清掃』『CS 向上運動～勉強会』を開始いたしました。

地元企業育成の為、外部講師(税理士)招聘による中小企業会計の解説について、独立行政法人中小企業基盤整備機構の協賛のもと、「中小企業会計啓発・普及セミナー」を平成 17 年 10 月 18 日に実施し、事業経営に役立てるよう側面よりの支援に取り組みました。